

運動会

わが子の大活躍をバッチリ撮影しましょう。



プログラムでわが子が出る種目や順番をチェック

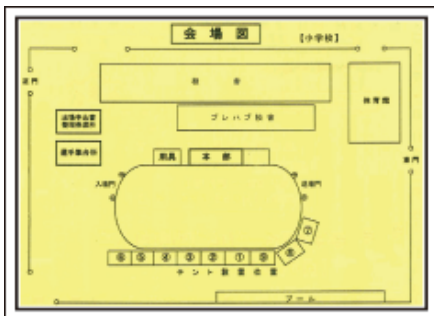
事前に運動会のプログラムを入手できる場合には、このプログラムをもとに、わが子の出場する種目や順番をしっかりとチェックしておきましょう。そのとき、グラウンドの図を描いて確認すれば、より良い撮影場所を把握できます。

■ 出場する種目に印を付けておこう

種目	種別	学年	出場人数	開始時刻	終了時刻	撮影ポイント
男子100m	個人	1年生	10人	9:00	9:20	ゴール前
女子100m	個人	1年生	10人	9:25	9:45	ゴール前
男子200m	個人	2年生	10人	9:50	10:10	ゴール前
女子200m	個人	2年生	10人	10:15	10:35	ゴール前
男子400m	個人	3年生	10人	10:40	11:00	ゴール前
女子400m	個人	3年生	10人	11:05	11:25	ゴール前
男子800m	個人	4年生	10人	11:30	11:50	ゴール前
女子800m	個人	4年生	10人	11:55	12:15	ゴール前
男子1600m	個人	5年生	10人	12:20	12:40	ゴール前
女子1600m	個人	5年生	10人	12:45	13:05	ゴール前
男子3200m	個人	6年生	10人	13:10	13:30	ゴール前
女子3200m	個人	6年生	10人	13:35	13:55	ゴール前
男子5000m	個人	6年生	10人	14:00	14:20	ゴール前
女子5000m	個人	6年生	10人	14:25	14:45	ゴール前
男子10000m	個人	6年生	10人	14:50	15:10	ゴール前
女子10000m	個人	6年生	10人	15:15	15:35	ゴール前

徒競走などの場合には走る順番などが把握できれば、より確実な撮影ができます。

■ グラウンドの図を使って、種目ごとのわが子の立ち位置を確認



各競技ごとに、撮影のベストポジションを確保するのに、とても便利です。

■ 徒競走について確認する

まずは、スタート位置の確認です。学年によって、スタート位置が変わることもありますので、注意が必要です。次に、走る順番を把握するために、クラスの何列目で、右から何番目なのかを聞いてください。

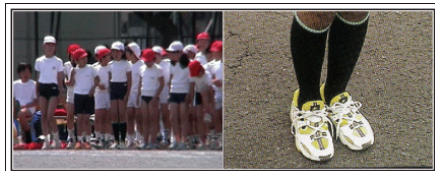
■ 玉入れ、踊り、体操等について確認する

重要なのは、グラウンドのどの位置から演技を始めるのかを知ること。わが子を見つけ、最初から撮り始めるのにとっても重要です。各種目について、最初はどこから始まり、どこで終わるのか。また体の向きはどの方向になるのかなどを確認し、できるだけ撮影しやすい位置を決めておきましょう。

わが子を見分ける目印を付けよう

「自分の子どもわかるよ」なんて思ったら大マチガイ。みんな同じ服装で、体の大きさも似たり寄ったり。しかも遠くから撮影するので、見つけるのはたいへんです。そこで、学校で許される目印をつけることがポイントです。一番のおすすめは、靴下。黒や紺など目立つ色のハイソックスを履かせると、見つけるのが簡単です。もちろん、ソックスの色まで指定されている場合は難しいですが、多くの学校では運動靴やソックスは自由ですので、ぜひ「目立つ色」をおすすめします。

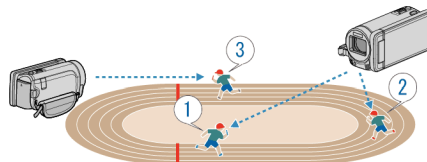
■ 黒系のハイソックスは大勢の中でも目立ちます



徒競走やリレーは、撮影位置を工夫しよう

徒競走では、誰もがゴール前で撮ろうとして、ゴール周辺が大混雑です。でも、ゴールから撮影するよりもゴールに近い、斜め横からビデオカメラを構えたほうが、混雑を避けられて撮影しやすくなります。撮影場所を変えることで、映像にも変化がでできます。例えばコーナーでは、わが子を追いかけて撮影することで、目の前を走り抜けるスピード感を演出でき、おもしろい映像になります。ゴール前にこだわるより、その撮影場所にあわせた演出を考えて撮影しましょう。

■ 徒競走の3つの撮影位置



- ①で撮れるシーン
- ②で撮れるシーン
- ③で撮れるシーン



ちょっとレベルアップ！「モニター明るさ調整」

運動会が行われる5月や9月、10月は、日差しが強く、ビデオカメラの液晶モニターが見にくいことがよくあります。こんな時は、「モニター明るさ」の設定を「4」にするとモニターの明るさが増して、晴天の屋外でも視認性が高くなります。